

神崎市地域経済動向調査

■全国の景況

◇月例経済報告 (H29.5月号より)

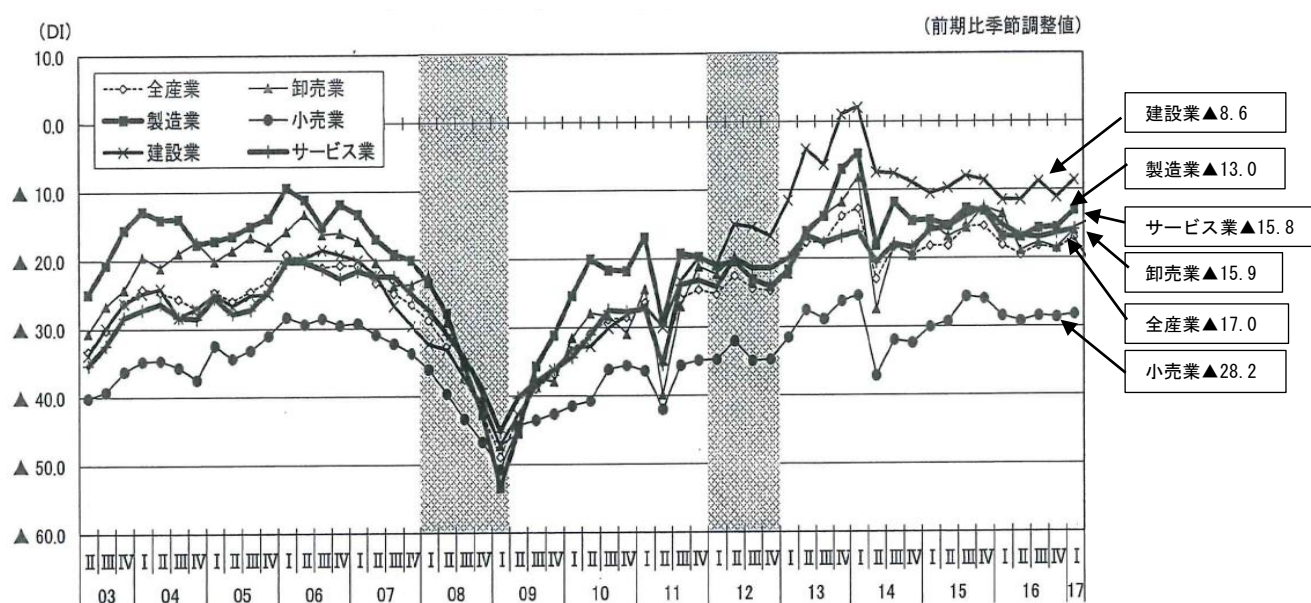
『景気は一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている』

- ・個人消費は、総じてみれば持ち直しの動きが続いている。
- ・設備投資は、持ち直しの動きがみられる。
- ・輸出は、持ち直している。
- ・生産は、持ち直している。
- ・企業収益は、改善している。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・消費者物価は、横ばいとなっている。
- ・先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある

◇中小企業景況調査 (2017年1～3月期より)

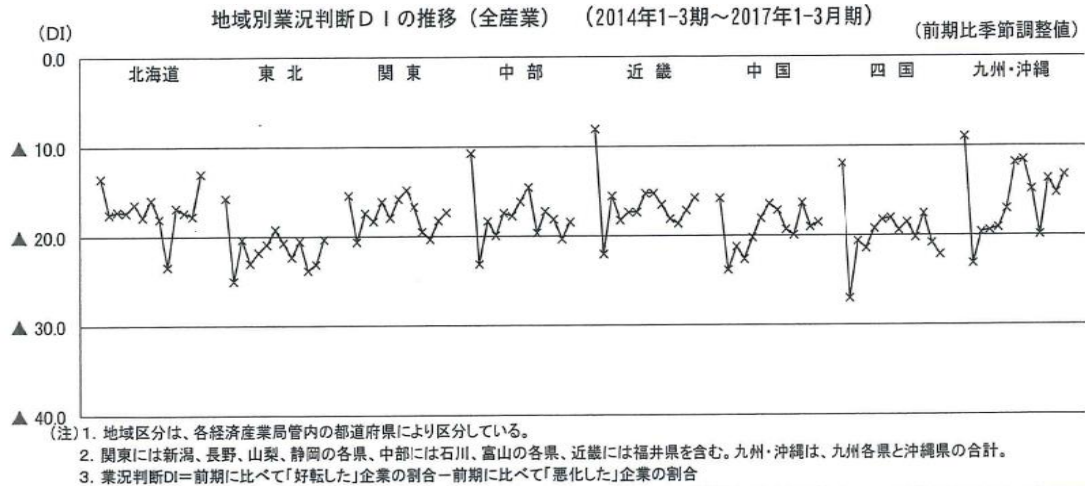
『中小企業の業況は、一部業種に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きを示しています。』

<中小企業の業況判断(2017年1～3月期)>



- ・業況判断は、2008年のリーマンショックによる金融危機により大きく落ち込んだ後、回復をみせ、近年は横ばいから緩やかな上昇となっている。
- ・業種別では、小売業が最も厳しい業況判断となっている。

<地域別業況判断(2017年1~3月期)>



- 九州・沖縄はマイナス幅が縮小している。北海道、東北など7地域で、マイナス幅が縮小し、四国では、マイナス幅が拡大している。

■佐賀県の景況

◇佐賀県内経済情勢報告 (H29.4)

『県内経済は持ち直しつつある』

- ・個人消費は、緩やかに持ち直しつつある。
- ・生産活動は、持ち直しつつある。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・設備投資は、全産業では増加見通しとなっている。
- ・企業収益は、全産業で減益見通しとなっている。
- ・住宅建設は、前年を上回っている。
- ・公共事業は、前年を上回っている。

◇佐賀県主要経済統計速報 (H29.5 より)

・個人消費は緩やかに持ち直しつつあるほか、生産活動は持ち直しつつあり、雇用情勢は改善している。
佐賀県経済の最近の動向(対前年同月比)をみると、

- ・需要面では、百貨店・スーパー販売額(3月)は、全店販売額が4ヵ月振りに上回った。
乗用車新規登録台数(4月)は、6ヵ月連続で上回った。
新設住宅着工戸数(3月)は、4ヵ月振りに下回った。
公共工事前払保証請負金額(4月)は、4ヵ月振りに下回った。
- ・生産面では、鉱工業生産指数(3月)は、3ヵ月連続で下回った。
- ・雇用面では、有効求人倍率(就業地別)(3月)は、25ヵ月連続で上回った。
- ・企業倒産(4月)の件数は1件減で、金額は2ヵ月連続で上回った。
- ・金融機関(銀行)貸出金残高(4月)は、56ヵ月連続で上回った。

<佐賀県内の参考指数>

項 目		対象月	数 値	単 位	対前年同月比・ 増 減 分	前月比・増減分					
県内需要	個人消費	百貨店・スーパー販売額	全店販売額	3月	51億76百万	円	0.2%		10.6%		
					既存店販売額	—	円	△1.5%		—	—
	住宅建設	乗用車新規登録台数	4月	2,109	台	18.6%		△48.7%			
				新設住宅着工戸数	3月	421	戸	△12.1%		△6.2%	
						公共工事	公共工事前払保証請負金額	4月	125億84百万	円	△16.6%
3月	87.6		△5.7%		△4.5%						
生産	鉱工業生産指数(季節調整済)	3月	87.6		△5.7%		△4.5%				
雇用	雇用情勢：有効求人倍率・就業地別(〃)	3月	1.37	倍	0.13ポイント		0.0ポイント				
企業倒産	企業倒産状況 (累計は年間ベース) (注)	倒産件数(当月)	4月	3	件	△1件		2件			
				〃(累計)	8	件	△2件		—	—	
		負債金額(当月)	5億42百万	円	3億64百万		△58百万				
			〃(累計)	13億42百万	円	1億34百万		—	—		
物価	消費者物価指数(佐賀市)	3月	100.1		0.2%		0.0%				
金融	金融機関(銀行)の貸出残高	4月	1兆2,922億	円	2.2%		△0.6%				
景気動向指数	先行指数	2月	65.0	%	—	—	—	—			
	一致指数		7.1	%	—	—	—	—			
	遅行指数		33.3	%	—	—	—	—			

■神埼市の景況

『神埼市の景況は佐賀県の情勢に類似すると思われる』

◇中小企業景況調査(2017年1～3月期より)

中小企業景況調査より、平成28年4～6月期から平成29年1月～3月の業況判断状況は以下のとおりである。

	H28.4～6月期	H28.7～9月期	H28.10～12月期	H29.1～3月期
全国	▲19.5	▲18.2	▲18.7	▲17.0
佐賀県	▲20.1	▲15.9	▲15.5	▲15.4
神埼市	-	-	-	▲26.7

- ・2017年1～3月期の佐賀県の全産業の業況判断DIは、▲15.4(前期差0.1ポイント増)で3期連続して上昇している。
- ・佐賀県は全国と比較して、1.6ポイント高くなっている。
- ・神埼市は、15社分の集計結果であり、参考値としてみていただきたいが、全国、佐賀県値と比べ、DIは低い値となっている。

<経営上の課題>

		経営上の問題点		
		1位	2位	3位
建設業	全国	官公需要の停滞	民間需要の停滞	従業員の確保難
	神埼市	熟練技術者の確保難	請負単価の低下・上昇難	従業員の確保難
製造業	全国	需要の停滞	生産設備の不足・老朽化	製品ニーズの変化への対応
	神埼市	需要の停滞	製品ニーズの変化への対応	原材料価格の上昇
小売業	全国	需要の停滞	大・中型店の進出による競争の激化	購買力の他地域への流出
	神埼市	店舗の狭隘・老朽化	従業員の確保難	販売単価の低下・上昇難
サービス業	全国	利用者ニーズの変化への対応	需要の停滞	従業員の確保難
	神埼市	需要の停滞	利用者ニーズの変化への対応	熟練技術者の確保難

- ・中小企業景況調査で、全国で約8,000件、神埼市商工会では15件が対象となっている。経営上の問題点については、全国平均と同様の傾向がみられる一方、地方独自の課題がみられる結果となっている。

◇保証月報(佐賀県信用保証協会より)

神埼市内事業所の金融保証承諾などは以下のとおりである。

単位：件、千円

	H28.4				H29.4			
	保証承諾		保証債務残高		保証承諾		保証債務残高	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
神崎市	6	28,650	369	3,196,703	9	51,500	349	2,735,319
佐賀県	173	1,510,325	11,158	87,613,660	189	1,618,410	10,684	81,875,097

・平成29年4月の神埼市内中小企業の保証承諾件数は9件で、金額は51,500千円で、前年同月比では増加となっている。

・保証債務残高は、佐賀県全体、神崎市とも、減少となっている。

◇金融あっせん(神崎市商工会 2016年4月～2017年3月まで)

神崎市商工会で平成28年度に行った金融あっせん件数は53件であり、42%(22件)が設備資金、75%(40件)が運転資金借入れとなっている。

金融あっせん件数	うち設備投資	うち運転資金
53	22	40

※上記のうち、9件は設備資金、運転資金両方を借り入れている。